総合特別区域の進捗に係る評価［ライフ・イノベーション分野］

平成30年度

柏の葉キャンパス「公民学連携による自律した都市経営」特区

［指定：平成23年12月、認定：平成24年３月］

Ⅰ 目標に向けた取組の進捗に関する評価

ｉ）＋ⅱ）の平均値　(4.6+4)/2=4.3　**4.3**

ｉ）取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度（当年度実績）

番号	評価指標	進捗度	評点
1	各主体の参画による活動の活性化	108%	5
2	新ビジネス創造と地域経済の活性化	102%	5
3	AEMS を活用した環境配慮型都市の確立	257%	5
4	先進的・包括的健康・介護サービス体制の構築	91%	4
5	虚弱予防活動の展開	89%	4

評価指標毎の進捗の評価の平均値　（5×3＋4×2＋3×0＋2×0＋1×0）／5＝4.6　**4.6**

・1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。
（例）評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa：5・20%、b：4・10%、c：3・70%の場合、5×0.2＋4×0.1＋3×0.7＝3.5で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ⅱ）取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値　**4.0**

Ⅱ 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

ｉ）、ⅱ）、ⅲ）の平均値　(3.4+2.8+3)/3=3.1　**3.1**

ｉ）規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値　**3.4**

ⅱ）財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値　**2.8**

ⅲ）地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値　**3.0**

Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

（専門家所見（主なもの））　3.8

・リハビリや口腔ケアなど一つ一つのサービスを独立に行うのではなく、運動・口腔・栄養に関する包括的な健康サービスの提供の展開を目指す点は評価できる。健康問題の背景には孤独や経済的な問題などの要因も重要であり、社会的ケアを見据えた統合的なサービスの可能性も模索して頂きたい。そうした新しい試みが、専門職を惹きつけ、人材不足の解決の一助になりうる。

・人口の高齢化でニーズは高いにもかかわらず、ライフ分野の取組の遅滞、利用者数の目標未達成が見られる。地域のステークホルダーの協働体制の見直し、強化が必要と思われる。

・トータルヘルスケアステーション創設に向けた課題（歯科衛生士の不足、リハビリ件数の不足）に対する解決策を見出すと、更なる発展が期待できる。事業所数拡大のための方策をしっかり考える必要がある。

・評価指標（5）の「虚弱予防活動の展開」におけるフレイルサポーターの登録のレベルでは、アウトカムの把握にまでは至っていないという課題がある。

専門家による評価（専門家の総合的な所見）の平均値　3.8

総合評価

Ⅰ、Ⅱ及びⅢを1：1：2の比率で計算（4.3+3.1+3.8×2）／4=3.8

3.8

（注）評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。
・評価は5～1（評点）で行う。
・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。
・進捗度以外の評価項目における評点は、5：著しく優れている、4：十分に優れている、3：適当である、2：適当であると認めるには不十分である、1：適当であると認められないとする。